

優秀賞

## TAX CITY ～未来へ託す社会のかたち～

小林 悠一郎（高校3年生：広島県）

もし、あなたが都市の未来を左右する立場なら、どのような選択をするでしょうか。

### 〈背景・目的〉

本作品「TAX CITY ～未来へ託す社会のかたち～」は、税と公共投資をテーマにした体験型シミュレーションゲームです。近年、日本の税制や社会保障制度は複雑化しており、その仕組みを理解することは容易ではありません。しかし、生活に密接に関わるにもかかわらず、「難しいもの」として敬遠されがちです。本作品では、それらをゲームとして再構成し、遊びながら直感的に理解できるようにしました。

### 〈ゲームの内容〉

プレイヤーは市長や財務担当、市民などの役割を持つ都市の意思決定者となり、税率や予算配分を議論しながら、経済・幸福・格差・安全の4つの指標をバランスよく向上させることを目指します。ゲームはターン制で進行し、税金をもとに教育・医療・防災などへ投資を行います。

ゲームの進行中には、数ターンごとに「社会転換イベント」が発生します。少子高齢化や地球温暖化など、社会全体に大きな影響を与える出来事が起こり、それまでの選択によって結果が変化します。例えば、防災への投資が不十分な状態で「大規模災害」が発生すると安全の指標が大きく低下しますが、事前に備えていれば被害を抑えることができます。一方で、防災を優先すれば教育や経済への投資が不足し、将来の成長に影響が出る可能性もあります。また、指標が低下すると市民によるデモや治安の悪化が発生し、ゲームの進行が妨げられる場合があります。

このように、本ゲームではすべての選択にメリットとデメリットが存在し、プレイヤーの意思決定によって都市の未来とエンディングが大きく変化します。

本作品を通して、役割分担や議論による意思決定を体験し、現実社会に近い選択の難しさと面白さを学ぶことができます。また、トレードオフへの理解を深め、政治や経済をより身近に感じるきっかけとなることを目指しています。